

「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」の開催にあたり、心より激励のメッセージをお送りいたします。

私たち日本国民にとって、広島・長崎の核兵器による未曾有の被害は、永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。しかしながら、戦後七十五年を経た現在も、世界は核兵器や戦争の脅威から未だ逃れることができておりません。

私たちは、世界唯一の被爆国の国民として、また、核兵器廃絶平和都市を宣言した釧路市民として、核兵器の廃絶と戦争の根絶による恒久平和の実現に向け、決意を新たにするとところでございます。

「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」が世界から絶大な支持を得られ、二十一世紀が、核兵器のない希望のある世界となるよう、より広範な国際的共通を広げられますことを祈念申し上げ、激励のメッセージと致します。

二〇二〇年八月

釧路市長 蝦名大也

原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会のオンライン開催にあたり、心からお祝い申し上げます。

本大会は、核兵器の廃絶を願う多くの方々が参加され、長きにわたりこの地道な運動に関わってこられた関係者の皆様には、深く敬意を表します。

広島・長崎の原爆投下から、今年で 75 年を迎えます。わが国は、世界で唯一の核被爆国として核兵器の全面廃絶と軍備縮小を全世界に向かって発信する重要な役割があります。

本市は、昭和 61(1987)年に、美しい郷土を守り豊かな暮らしを子孫に伝えるため、非核三原則の堅持と恒久の平和を願い、「非核平和都市」を宣言しました。

依然として世界各地では紛争やテロ行為があとを絶たず、真の平和への道のりは、大変険しいものではありませんが、市民の皆様とともに核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざしてまいります。

今後も皆様には、核兵器のない平和で公正な社会の構築に向けて、平和運動の推進に努められますことをご期待いたしますとともに、本日参加されました皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、メッセージといたします。

令和 2(2020)年 7 月 21 日

北海道士別市長 牧野 勇司

原水爆禁止二〇二〇年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止二〇二〇年世界大会の開催に対しまして、心からお祝い申し上げます。

毎年開催される本大会は、私たちに平和の大切さや、その為にはたゆまない努力が必要であることを思い起こさせるものとなっております。

依然として核兵器の脅威はなくなっていない世界情勢の中、「平和の町宣言」をしている本町としましても、平和な世界を実現することが私たちに課せられた大きな責務であると認識しております。

最後に、原水爆禁止大会のご成功と皆様方のご健勝を祈念申し上げ激励のメッセージといたします。

令和二（二〇二〇）年 六月

羽幌町長 駒 井 久 晃

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、
メッセージを申し上げます。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として核兵器
の全面廃絶と軍備縮小を全世界に向かって提唱
し得る最適な立場にあります。

原爆の恐ろしさ、被爆者の声を世界中に訴え、
絶対に核兵器の使用を許してはなりません。

原水爆禁止 2020 年世界大会が盛会に終わり、
今後核兵器のない平和で公正な世界となること
を心から願うものであります。

北海道沙流郡平取町長 遠 藤 桂 一